



遠藤れい子ひまわりレポート



○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 ☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 ☎ 025-280-5475

ホームページ



遠藤れい子-長岡市医師連盟より「推薦状」いただきました

＜2023年2月19日、長岡市医師連盟と遠藤れい子は政策協定書を取り交わしました＞

2月19日、遠藤れい子県議は長岡市医師連盟と「政策協定書」を交わし、21日に、県会議員選挙候補者として認める「推薦状」をいただきました。

遠藤れい子県議は「長岡市の医療・介護の充実のために一層頑張ります。」と再選を固く決意しました。皆様のより温かいご支援をよろしくお願ひします。

政策協定事項(要旨)

- 一、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院、立川総合病院の長岡市内3病院による途切れの無い二次病院救急輪番体制を堅持し、患者が適切な医療を滞ることなく受けられる体制を堅持する。
- 一、国民皆保険を堅持する。国民医療・介護の更なる充実・強化を図る。
- 一、健康寿命を延伸し、社会保障の充実により国民不安を解消するため、必要な財源を確保する。
- 一、住み慣れた地域において質の高い医療・介護を受けられるよう、かかりつけ医機能を中心とした地域における必要な医療を確保する。
- 一、医師の過重労働を解消する政策を推進する。
- 一、新興感染症の感染拡大で医療崩壊を招かないよう、医療機関に十分な支援を行う。

地方選挙勝利をめざす春のつどい開催 原発再稼働／医療福祉の充実を！

2月25日春のつどいで、羽賀正人医師が激励のあいさつ。山添拓参院議員は、遠藤れい子県議の再選、笠井のりお市議とはつとり耕一、長坂まさし二人の予定候補者の勝利で、3人の党市議団の必勝を訴えました。

遠藤れい子県議は、長岡赤十字病院副院長の経験



諸橋市議、笠井市議、山添参院議員、遠藤県議、服部前市議、長坂予定候補

を生かして医師会からの要請に応え、新型コロナ対応ができた。これらの取り組みが長岡市医師連盟との政策協定となり、県議選で推薦をいただくことにつながった。税金の使い方を変えて命と暮らしを守ろう、柏崎刈羽原発の再稼働は阻止しようと呼びました。

笠井のりお市議、はつとり耕一、長坂まさし予定候補も決意を述べました。

参加者アンケートから

- *羽賀先生のお話はとても分かりやすく、現実の医療情勢がよく分かった。
- *山添さんの話はわかりやすく、原発、良寛牛乳、農業問題などローカル問題を聞いていて良かった。
- *長岡、新潟県の実情のわかる話だった。
- *山添議員の国会中継は録画してみている。
- *世の現状が良くわかり、自身のなすべきことが理解でき、有意義だった。
- *今後、日本で生きていくことに不安がある。日本共産党の政策が活用され、戦争も原発もない、皆が幸せに暮らせるとうい。
- *山添拓さんの話は心に迫り素晴らしかった。
- *長坂さん、ピアノ演奏ありがとう。
- *遠藤さんの話をもう少し聞きたかった。長岡市医師連盟と政策協定を結んだことをもっとアピールした方がいいのではないか？
- *遠藤氏はじめ、候補者各氏の不転の決意と熱気を実感できました。
- *学校給食費無償化は、何としても実現を！福祉・医療の充実が、真の意味での「文明国」のバロメーターである。
- *大砲よりバターとパンを！「国民不在」の政治に怒りのハンマーを！

